（様式１）

履　　　歴　　　書

本 籍

現 住 所

ふりがな

 　　　 氏 名

西暦　　 　年 月 日生（　）

学　歴

西暦　　 年 月 日

西暦　　 年 月 日

西暦　　 年 月 日

西暦　　 年 月 日

西暦　　 年 月 日

職　歴

自　西暦　　 年 月 日

至　西暦　　 年 月 日

自　西暦　　 年 月 日

至　西暦　　 年 月 日

研究歴

自　西暦　　 年 月 日

至　西暦 　　年 月 日

資　格

賞　 罰

上記のとおり相違ありません。

西暦　　 年 月 日

氏　名

（様式２）

論 　文 　目 　録

学位論文題目

参考論文題目

　基礎論文・参考論文目録（様式３）添付

西暦　　　　年　　月　　日

学位申請者

（様式３）

基礎論文・参考論文目録

１．基礎論文

冊数：

(1)　題目：

(2)　著者名：

(3)　掲載英文学術雑誌：

(4)　掲載年月：

(5) 　Impact Factor：

２．参考論文

冊数：

(1)　題目：

(2)　著者名：

(3)　掲載学術雑誌：

(4)　掲載年月：

西暦　　　　年　　月　　日

学位申請者

（様式４）

学位論文内容の要旨

　　博士の専攻分野の名称　　博士（医理工学）　　　　氏 名

学 位 論 文 題 名

（様式５）

西暦　　　　年　　月　　日

医 理 工 学 院 長　殿

主任指導教員　分　野

氏　名

学位授与申請者の論文提出資格申請書

このことについて、下記学位授与申請者の論文提出資格審査を願いたく関係書類を添え申請いたします。

学位授与申請者

専 攻 名

　　　学生番号

　　　　ふり　がな

　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　（ローマ字表記）

(以下提出者記入不要)

|  |
| --- |
| 入学年月日 西暦　　　　年　　月　　日　　入学 |
| 休 学 期 間 　西暦　　年　　月　　日 ～ 西暦　　年　　月　　日（　　カ月） 西暦　　年　　月　　日 ～ 西暦　　年　　月　　日（　　カ月） 西暦　　年　　月　　日 ～ 西暦　　年　　月　　日（　　カ月） 西暦　　年　　月　　日 ～ 西暦　　年　　月　　日（　　カ月） 西暦　　年　　月　　日 ～ 西暦　　年　　月　　日（　　カ月） 通　算【　　カ月】 |
| 通算在学期間【　　年　　カ月】 | 修得単位数【　　　　単位】 |

（別紙１）

博士論文のインターネット公表　事前チェックリスト

学位規則（昭和28年文部省令　第九号、平成25年4月1日改正）の定めにより、博士学位を授与された者は、その授与された日から１年以内に博士論文の全文をインターネットにより公表する義務があります。ただし、博士論文を投稿している学術ジャーナルの規定により公表が認められない場合など、やむを得ない理由がある場合はこの限りではありません。

学位論文を申請する際には、事前に本チェックリストを用いて自身の論文がインターネット公表可能であるか確認してください。

学術ジャーナルの投稿規定の確認方法や解釈等、チェック項目の中にどのようにすればいいか分からない点がある場合は、附属図書館の相談ホットライン（huscap@lib.hokudai.ac.jp ／電話011-706-2524・011-706-4741（平日9時～17時））に問い合わせてください。

チェック項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (1) | □ | 他者に個人情報、著作権、肖像権その他、法令により保護される権利が帰属する図表やデータを含んでいないかどうか確認した。 |
|  | （他者に権利が帰属する内容を含んでいた場合） |
|  |  | □ | 当該他者に対し、①論文に含めること、②学位授与から１年以内にインターネット公表することについて許諾を得るための手続きを行った。 |
|  |  |  | ※①の許諾を得られなかった場合は、指導教員に相談すること。※②の許諾を得られなかった場合は、あわせて「公表保留承認申請書」を提出すること。 |

以下（2）～（5）は該当する場合に確認してください。

|  |
| --- |
| （学術ジャーナルにすでに掲載されている、掲載予定である、または現在投稿中の場合） |
| (2) | □ | 掲載された学術ジャーナルの投稿規定を読み、学位授与から１年以内に大学の機関リポジトリに掲載することが認められているかどうか確認した。 |
|  | （認められていない場合） |
|  |  | ※インターネット公表が可能となる日が学位授与から①１年以内の場合は「公表可能日の連絡届」、②１年を超える場合は、「公表保留承認申請書」を提出すること。 |

|  |
| --- |
| （学術ジャーナルに投稿予定である場合） |
| (3) | □ | 投稿予定の学術ジャーナルの投稿規定を読み、大学の機関リポジトリに掲載することが多重投稿規定等に抵触しないかどうか確認した。 |
|  | （抵触する場合） |
|  |  | ※インターネット公表が可能となる日が学位授与から①１年以内の場合は「公表可能日の連絡届」、②１年を超える場合は、「公表保留承認申請書」を提出すること。 |

|  |
| --- |
| （書籍として出版予定の場合） |
| (4) | □ | 出版社との契約上、学位授与から１年以内に大学の機関リポジトリに掲載することが認められるかどうか確認した。 |
|  | （認められない場合） |
|  |  | ※インターネット公表が可能となる日が学位授与から①１年以内の場合は「公表可能日の連絡届」、②１年を超える場合は、「公表保留承認申請書」を提出すること。 |

|  |
| --- |
| （特許・実用新案出願（既取得国以外の国への国内移転）予定の場合） |
| (5) | □ | 出願及び国内移転手続きのため、インターネット公表できない根拠及び期間を確認した。 |
|  |  | ※インターネット公表が可能となる日が学位授与から①１年以内の場合は「公表可能日の連絡届」、②１年を超える場合は、「公表保留承認申請書」を提出すること。 |

（別紙２）

基礎論文の掲載学術雑誌についてのコメント

基礎論文題目：

基礎論文提出者：

基礎論文掲載雑誌：

コメント内容：

西暦　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　主任指導教員　分野

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

（様式６）

「共著論文」学位申請自己申告書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　西暦　　　　年　　月　　日

　医 理 工 学 院 長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学位授与申請者

　　　基礎論文題目

　上記基礎論文は、下記の者との共著でありますが、私が主として研究しまとめたものであり、私が学位申請論文の基礎論文として提出することについて、指導教員の証明書及び他の共著者が本論文を学位論文又は学位申請論文の基礎論文として、過去に使用しておらず、将来においても使用しないことなどの承諾（誓約）を添えて申告いたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　　名 | 所　　属　　・　　身　　分 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（様式７）

「共著論文」主論文証明書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　西暦　　　　年　　月　　日

　　　医 理 工 学 院 長　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所 　　属

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　主任指導教員

　　基礎論文題目

　上記論文は、共著論文でありますが、下記の学位授与申請者が主として研究し、まとめたものであり、他の共著者は本論文を学位論文又は学位申請論文の基礎論文として、過去に使用しておらず、将来においても使用しないことを確認していることを証明します。

記

　　　学位授与申請者：所　属

　　　　　　　　　　　氏　名

（様式８）

「共著論文」共著者承諾（誓約）書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　西暦　　　　年　　月　　日

 北海道大学大学院医理工学院長　殿

所属・身分

氏　　　名

　基礎論文題目

　上記論文は、下記の学位授与申請者と共著したものでありますが、この度学位授与申請者が学位申請論文の基礎論文（学位申請論文の基盤をなす論文）とすることについて、これを承諾し、かつ、私はこの論文を学位論文又は学位申請論文の基礎論文として、過去に使用しておらず、将来においても使用しないことを誓約します。

記

　　　 学位授与申請者：所　属

　　　　　　　　　 　　氏　名

（様式８：連名用）

「共著論文」共著者承諾（誓約）書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　西暦　　　　年　　月　　日

 北海道大学大学院医理工学院長　殿

所属・身分

氏　　　名

所属・身分

氏　　　名

　基礎論文題目

　上記論文は、下記の学位授与申請者と共著したものでありますが、この度学位授与申請者が学位申請論文の基礎論文（学位申請論文の基盤をなす論文）とすることについて、これを承諾し、かつ、私はこの論文を学位論文又は学位申請論文の基礎論文として、過去に使用しておらず、将来においても使用しないことを誓約します。

記

　 　　学位授与申請者：所 属

　　　　　　　　　 　　氏 名

（様式９）

西暦　　　　年　　月　　日

医理工学院長　殿

博士論文全文のインターネット公表可能日の連絡届

　私が執筆した博士論文の全文は、下記公表可能日以降に、インターネットの利用により公表願います。

記

公表可能日：　西暦　　　　年　　月　　日 以降

届出者氏名 印

※自署の場合は押印不要

学位取得予定日 西暦　　　年　　月　　日

※　本様式は、学位取得予定日から１年以内の一定期間、公表を保留する必要がある場合に提出するものです。

（様式10）

西暦　　　　年　　月　　日

医理工学院長　殿

博士論文全文のインターネット公表保留承認申請書

　私は、博士学位を授与された者は、その授与された日から1年以内に博士論文の全文をインターネットにより公表する義務があることを理解しました。そのうえで、次の事由により、博士論文の全文を学位取得予定日から１年以内に公表することができませんので、博士論文の内容を要約したものを公表することを申請します。

　なお、全文を公表できない事由が解消した際には、速やかにその旨を報告します。

１．博士論文全文をインターネットの利用により公表できない事由

下記事由のうち、公表保留の期限に上限が設けられている場合は、下記２で記載する公表できない事由の解消見込み日、又は公表保留上限年数（以下、公表保留期限と言う。）を経過した段階で自動的に本学リポジトリへ博士論文全文を掲載します。公表保留を延長する場合には、公表保留期限到達前の所定の日までに申請者本人又は本人から委任を受けた本学教員が公表保留延長申請書（別様式）を提出する必要があります。

（学術ジャーナルへの投稿・書籍出版による事由）

* 投稿済み、あるいは投稿中の学術ジャーナルの規定により、学位取得予定日から１年を超えてインターネット公表できない期間が継続するため（５年上限、ただし１年毎の延長が可能）。

ジャーナル名（　　　　　　　　　　　　　）　掲載時期（　　　　　　　　　　　）

* 多重公表を禁止する学術ジャーナルへの投稿を予定しているため（５年上限、ただし１年毎の延長が可能）。

ジャーナル名（　　　　　　　　　　　　　）　掲載時期（　　　　　　　　　　　）

* 書籍として出版する予定があるため（５年上限、ただし実際に出版した場合は、出版日から起算して10年を上限とした広報保留延長が可能）。

（他者への権利帰属に関する事由）

* 博士論文が特定個人の情報を含むことで、インターネットの利用により公表することができないため（公表可能時期未定）。
* 博士論文が他者の著作物を含み、博士論文への掲載は認められたが、インターネットの利用により公表することに対し承諾が得られなかったため（公表可能時期未定）。

（特許・その他の事由）

* 特許や実用新案の申請との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により、明らかな不利益が生じるため（公表可能時期未定）。
* 博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内用を含むため（公表可能時期未定）。
* その他、やむを得ない特別な事由があるため（５年上限）。

※事由を具体的に明記すること。

２．全文を公表できない事由の解消見込み時期

　 □　西暦　　　年　　　月　　　日　　　　　　　□　未定

申請者氏名 　印　　　学位取得(予定)日 西暦　　　年　　月　　日

※自署の場合は押印不要

|  |  |
| --- | --- |
| 主任指導教員確認欄※論文博士は不要 | 　　　　　　　　　　　　　　印 |

（様式11）

西暦　　　　年　　月　　日

医理工学院長　殿

博士論文全文のインターネット公表保留事由の解消届

　私が執筆した博士論文の全文について、下記公表可能日以降に、インターネットの利用による公表が可能となりましたので、届け出ます。

記

公表可能日：　西暦　　　　年　　月　　日 以降

届出者氏名 印

※自署の場合は押印不要

学位取得日 西暦　　　年　　月　　日

学位記番号

（様式12）

西暦　　　　年　　月　　日

医理工学院長　殿

博士論文全文のインターネット公表保留延長申請書

　私は、博士論文全文の公表保留を申請していましたが、当初予定していた公表保留事由の解消見込み時期においても下記の事由により公表することができませんので、公表保留の延長を申請します。

　なお、全文を公表できない事由が解消した際には、速やかにその旨を報告します。

１．公表保留延長を希望する事由

* 博士論文のデータを含む論文を学術ジャーナルに投稿済、あるいは投稿予定であり、当該学術ジャーナルの規定により、インターネット公表できない期間が継続するため。

（公表延長可能期間：1回の申請につき1年間）

※ジャーナル名、投稿時期等を具体的に明記すること。

* 博士論文の内容を書籍として出版したため。（出版日：西暦　　　　年　　月　　日）

（公表延長可能期間：出版日から起算して原則10年間）

２．当初の保留申請事由解消見込み時期

西暦　　　　　年　　　月　　　日

３．新たに希望する保留申請事由解消見込み時期

□　西暦　　　　　年　　　月　　　日

□　未定（著作権が出版社に譲渡され、公表の合意が得られない場合のみ選択可）

申請者氏名 　印　　　　　　　学位取得日　西暦　　 　年　　月　　日

※自署の場合は押印不要

学位記番号

（申請者より委任を受けた場合）

教員氏名 　印

　 ※自署の場合は押印不要

（様式13）

西暦　　　　年　　月　　日

医理工学院長　殿

審査委員主査

審 査 委 員 会 実 施 日 程 等 通 知 書

　　　　　　　　　　　　　　　提出の学位論文の審査委員会を、下記のとおり実施いたしますので、お知らせします。

記

日　　　時：　　　月　　日（　）　　時　　分　～　　時　　分

場　　　所：

発表者氏名：

論文題目：

　なお、日程が重複した場合は、次のとおり実施を希望いたします。

第１希望　　　　月　　日（　）　　時　　分　～　　時　　分

第２希望　　　　月　　日（　）　　時　　分　～　　時　　分

第３希望　　　　月　　日（　）　　時　　分　～　　時　　分

第４希望　　　　月　　日（　）　　時　　分　～　　時　　分

（様式14-1：審査委員用）

西暦　　　　年　　月　　日

主査　殿

　　　　　　　　　審査委員

学位論文審査結果報告書

　　　　　　　　　　　　　　提出の学位論文審査及び試問・試験について、下記のとおり報告します。

記

１．評　価

Ⅰ．研究立案能力 　Ａ　・　Ｂ　・　Ｃ

Ⅱ．研究遂行能力 　Ａ　・　Ｂ　・　Ｃ

Ⅲ．問題探索・解決能力 　Ａ　・　Ｂ　・　Ｃ

Ⅳ．プレゼンテーション・質疑応答能力 　Ａ　・　Ｂ　・　Ｃ

※　上記評価欄については、該当する評語を○で囲むこと

（Ａ：優れている　Ｂ：普通　Ｃ：劣っている）

２．総合評価　　　　　　　　　　　　　　　可　・　要修正　・　否

注）可：①修正なし、②字句の修正を要する場合等

要修正：新しいデータの追加を要する場合等

３．判定理由

|  |
| --- |
|  |

（様式14-2：主査用）

西暦　　　　年　　月　　日

医理工学院長　殿

　　　　　　　　　審査委員主査

学位論文審査結果報告書

　　　　　　　　　　　　　　提出の学位論文審査及び試問・試験を終了しましたので、下記のとおり報告します。

記

１．学位授与についての審査会の判定　　　　可　・　要修正　・　否

２．判定理由（判定が「否」又は「要修正」の場合に記入）

|  |
| --- |
|  |

注）記入欄が不足する場合は、別紙（A4、様式任意）を追加可

３．添付書類

　　　（様式15）学位論文審査の要旨（1,600～2,000字）　　１部

（様式14-3：主査用・修正後報告）

西暦　　　　年　　月　　日

医理工学院長　殿

　　　　　　　　　審査委員主査

学位論文審査結果報告書

　　　　　　　　　　　　　　提出の学位論文について、修正後の審査及び試問・試験を終了しましたので、下記のとおり報告します。

記

１．学位授与についての審査会の判定　　　　可

２．添付書類

　　　（様式15）学位論文審査の要旨（1,600～2,000字）　　１部

（様式15）

学位論文審査の要旨

　　　博士の専攻分野の名称　　　博士（医理工学）　　　氏 名

　　　　　　　　　　　　 主査

　　　　　　審査担当者　 副査

　　　　　　　　　　　　 副査

学 位 論 文 題 名